

2004/0/23

作成：木下尚樹

岩盤の熱環境に関する研究小委員会 平成 15 年度第 3 回 議事録 (案)

日 時：平成 15 年 3 月 29 日 (金) 15:00～17:30

場 所：土木学会 D 会議室

出席者：(小委員長) 稲田善紀 (副委員長) 勝山邦久 (幹事長) 上田貴夫 (幹事) 稲葉武史,
熊坂博夫, 木下尚樹, (委員) 小川豊和, 亀谷裕志, 木下直人, 甲村雄一, 新田昭

配布資料：3-1 平成 15 年度第 2 回議事録 (案)

3-2 熱物性 WG 報告書目次案

3-3 物性データベース内訳

3-4 解析 WG 作業状況報告

3-5 熱水貯蔵システム 解析 WG 報告書まとめの例

3-6 第 34 回岩盤力学に関するシンポジウム セッション (案)

3-7 出版企画書

3-8 岩盤力学委員会関係報告

3-9 活動計画

3-10 新聞記事 愛媛新聞 2004.3.20 14 面

議 事：

1. 平成 15 年度第 2 回委員会 議事録の確認

資料 3-1 平成 16 年度第 2 回議事録 (案) について審議を行い、原案通り了承された。

2. 物性 WG 活動状況について

資料 3-2 熱物性 WG 報告書目次案について、前回の目次案から一部修正した旨説明があり、高温下での物性、低温下での物性に分けて記述する目次案が了承された。

資料 3-3 物性データベース内訳に基づき、データ数は約 36,000 個 (内、土研の凍結融解のデータ約 23,000 個) であることなどが説明された。

次回委員会 (7 月～8 月予定) を目処に報告書一次原稿を作成することが確認された。

3. 解析 WG 活動状況について

資料 3-4, 資料 3-5 に基づいて説明がなされた。

- ・ プロジェクトに関する文献調査について、未整理・未収集のものについて担当を確認した。
 - 液体水素貯蔵, 高温岩体発電・地熱発電⇒勝山委員
 - 冷水倉庫⇒貯蔵事例なし 木下幹事が引き続き調査
 - メタンハイドレート貯蔵⇒貯蔵施設なし 上田幹事長が調査
 - 天然ガス貯蔵⇒検討事例なし 引き続き熊坂幹事が調査

- ・ 解析コードの機能調査については、取扱業者への聞き取り調査が困難なところもあるが、引き続き調査する。
- ・ 解析 WG においても報告書の目次（案）を作成し、両 WG の目次を合わせた報告書全体の目次（案）を作成して、次回委員会にて審議する。
- ・ 次回委員会（7月～8月予定）を目処に報告書一次原稿を作成する。

4. 岩盤力学に関するシンポジウムについて

資料 3-6 に基づき説明があり、第 34 回岩盤力学シンポジウムにおいて岩盤の熱環境に関するセッションを設け、小委員会の活動報告および論文発表を行うことが決定された。

- ・ 投稿論文の担当は以下の通り、担当者は 6 月初めを目処に、著者および題目を決定する。
 - 熊坂幹事（解析）
 - 山辺委員（解析） 第 2 候補 小川委員
 - 木下幹事（解析 or 物性）
 - 新田委員（解析 or）物性
 - 木下委員（物性）
- ・ セッション開設については企画小委員会へは申し入れている。今後、論文小委員会との連絡調整が必要である。

5. 研究成果の出版について

資料 3-7 に基づき、報告書出版について説明があった。出版企画書のある程度作成してから、出版担当部署との調整に入ることにした。また、報告書作成に関連して、出版の手順、スケジュール、条件（頁数、ソフト）などについて情報を得ておくこととなった。

- ・ 基本決定事項 原稿形態：編集を伴う（完全版下でない）、図面：原則トレース不要、A4 版
- ・ 全体ページ数を把握するためにも一次原稿を次回までに作成する。
- ・ 図面の使用許可については手間とることが予想されるため、整理しておく。
- ・ 原稿フォーマットを各委員へ連絡する。

6. 岩盤力学委員会関係報告

資料 3-8 について説明があった。主な内容は以下の通り。

- ・ 当小委員会から申請していた活動期間 1 年延長が企画小委員会および運営小委員会でも了承された。
- ・ 当委員会選出の論文小委員会委員は 16 年度は上田幹事長から交代し、甲村委員とすることを了承した。

7. その他

次回委員会予定

7月～8月に開催することにした。日程は後日調整する。

以上